

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
児童心理学		必修(心) 選択(理.作.社.精)	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>乳幼児期、児童期における子どもの身体面及び精神面の発達の変化と心理的特徴を学習し、基礎的知識を習得することで、子どもの行動の様子について基礎的な理解ができるようになること、子どもの理解の視点を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>課題学習、同時双方向型授業を通じて、乳幼児期、児童期における子どもの成長の原理や一般的傾向及び心身の発達の諸側面の特徴、子どもを取り巻く環境や課題について検討できることを目的としたワークシートを行う。課題に対するフィードバック、質疑応答で理解を深める。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向型授業中に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	図でよむ心理学 発達 改訂版 / 編著：川島一夫 / 福村出版 子どもを育む心理学 / 編著：小林芳郎 / 保育出版社				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	乳幼児期・児童期の子どもの心身の発達や変化と心理・行動的特徴などに関する知識・技能を習得し、子どもの行動の様子を理解することができる。			HSU(2)、心(1)、(2)	
②	現代の子どもを取り巻く環境及び課題について理解し、説明することができる。			HSU(6)、心(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション：授業の概説 生涯発達の考え方、子どもを取り巻く環境について学ぶ。 フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
2	運動能力と身体の発達について学ぶ。 フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
3	感覚・知覚の発達について学ぶ① フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
4	感覚・知覚の発達について学ぶ② フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
5	情緒・感情の発達について学ぶ① フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
6	情緒・感情の発達について学ぶ② フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
7	愛着の発達について学ぶ① フィードバック：同時双方向型授業において課題の全体講評を行う。	印刷教材等での授業	提示した資料を基にレポートを作成する。	4	
8	愛着の発達について学ぶ②	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
9	親子関係、友人関係について学ぶ	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
10	認知の発達について学ぶ①	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
11	認知の発達について学ぶ②	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	
12	言語能力の発達について学ぶ	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

13	遊びの発達について学ぶ	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4			
14	発達のおぼろげさについて学ぶ	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4			
15	これまでの学習の総括を行う	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付したプリントによる予習復習を行う。	4			
試	レポート試験 評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。				コメントをつけて返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業中に提示する課題及び授業終了時にリアクションペーパーを提出する。リアクションペーパーに関して、授業内容の理解、新しい気づき及び疑問点、感想について記述する。				課題に関してはコメントをつけて返却する。同時双方向型授業では授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、質問に回答する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p>教員の実務経験： 臨床心理士として 19 年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容： 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>							